

小中高一貫ふるさとキャリア教育だより

発行日
平成30年3月27日(火)
発行者
宗谷管内地域未来づくり
会議事務局

平成29年度第2回地域未来づくり会議

平成30年3月26日(月)、北海道利尻高等学校において、「第2回地域未来づくり会議」を開催しました。

本会議では、今年度の取組や本事業による成果、児童生徒の変容などについて、各研究指定校から説明していただき、本事業を踏まえた今後の取組の在り方などについて協議を行いました。本会議の内容は次のとおりです。



平成29年度の取組や本事業の成果など

【利尻高校】

- ・前年度までの研究を踏まえて、キャリア教育の全体計画の見直しを図り、全教職員が生徒に身に付けさせたい力を意識しながら、今年度の取組を実施することができた。
- ・本事業による取組をまとめたリーフレットを作成し、利尻町内に配布することにより、一層、地域との連携を図りたい。

【利尻中学校】

- ・生徒が利尻島を紹介する「利尻PR動画」や「オリジナルパンフレット」を作成した。今後はこれらを効果的に活用し、一層、利尻のよさを広めたい。
- ・キャリアノートを活用し、生徒が取組後や学期ごとに自分の成長を振り返るとともに、客観的に自分を見つめ直すことができた。

【沓形小学校】

- ・児童が利尻のよさをアピールするパンフレットを作成するとともに、フェリーターミナルに配置し観光客から感想を書いてもらうことにより、児童の意欲の向上につなげた。
- ・キャリアノートに、友達からの「励ましカード」を貼り付けたり、保護者からの感想を記入したりするなど、自己肯定感の高まりにつながるようキャリアノートを活用した。

【仙法志小学校】

- ・全体計画を作成し、全教職員で共通理解を図ることにより、目標や重点等を明確にしながる取組を実施することができた。
- ・ICT(スカイプ)を利用し、道内や道外の小学校の児童と、それぞれの地域について交流することにより、ふるさととのよさを再認識するとともに、他の地域に対する関心を高めることができた。

地域未来づくり会議委員からの意見等

- 各研究指定校が、キャリアノートを効果的に活用して、指導の充実を図っていることに感心した。今後も、改善、充実を図りながら取り組んでもらいたい。
- 各研究指定校において、地域人材を活用した取組を進めているが、利尻町内には、教育資源として活用できる人材がまだ多くいるので、積極的に活用してもらいたい。
- 利尻町の小・中・高の児童生徒が集まって、利尻のよさや今後の利尻について話し合う機会などがあれば、キャリア教育の取組が一層充実するのではないかと。

まとめ(稚内北星学園大学 侘美 准教授)

「北海道の中の利尻」としての存在感を高め、「利尻ブランド」の確立へとつなげるためにも、ふるさと利尻を愛し、地域の創生・発展に貢献できる子どもたちの力が必要となる。本事業が契機となり、その一端を担うことにつながればと考えている。今後も充実した取組が実施されることを期待している。